

# RICEBALL SEMINAR

2017

様々な分野の若手研究者が、各クールの共通テーマに沿って先端的で興味深い取り組みを発表します。発表内容を踏まえたフリーなディスカッションを通して、互いの理解を深め、この機会にみなさんの「研究」や「学び」に生かしませんか？

## 11/17 株価の数学的記述から ブラックショールズ モデルの誕生

FRIDAY  
12:20

株式価格や外国為替レートをはじめとする金融市場で取引される資産の価格は時間の経過とともに激しく変動しています。このランダムな挙動を説明する自然な数理モデルは如何なるものであるかをテーマに、代表的な数理モデルであるブラックショールズモデルの誕生に至るまでの過程を歴史を踏まえた上で数学的な観点から説明します。

湯浅 智意 [理工学部 博士課程後期課程  
/ 日本学術振興会特別研究員DC2]

毎週 金曜日 12:20-12:50

どなたでも  
ご参加  
いただけます立命館大学 びわこ・くさつキャンパス  
フォレストハウスF101

参加無料 [おにぎり・コロッケ付]

11/24  
FRIDAY  
12:20

## Comparative Advantage and International Trade Performance of the Republic of Uzbekistan

This presentation builds on tendencies and perspectives of the development of International Trade in the Republic of Uzbekistan, and establishes the relative importance of different sources of comparative advantage in explaining its international trade performance, with particular focus on policy and institutional factors.

Nodira Kurbanbaeva [経済学研究科 MPEDコース]

第4クール 共通テーマ

## 社会システムの グローバル化と 豊かさへの挑戦

## 12/08 社会関係資本でみる スウェーデン ～成長と福祉の両立を考える～

FRIDAY  
12:20

高福祉国家というイメージが強いスウェーデンですが、実は、経済パフォーマンスも非常に高いという特徴を持っています。エコノミスト2013などで注目されているのは、手厚い福祉サービスと強い経済を両立させる合理的なシステムです。それでは、なぜそのようなシステムが可能なのでしょう？ 違う国でそのシステムを導入することはできるのでしょうか？ 社会関係資本という概念を用いて、システムの有効性を社会的特徴から分析する研究の一端をご紹介します。

北井 万裕子 [経済学研究科 博士課程後期課程  
/ 日本学術振興会特別研究員DC1]

12/01  
FRIDAY  
12:20

## 日仏における 伝統地域産品の 供給体制

伝統地域産品のフードシステムの保護・振興の重要性は、地域経済の持続的発展、生物文化多様性の維持、食文化の維持など様々な観点から、国際的に共有されています。そこで、現状の体制は十分といえるのか、日仏2例（京都府の大かぶ・千枚漬、南仏の塩漬オリーブLucques du Languedoc）の分析を通して考えます。

大住 あづさ [BKC社系研究機構 専門研究員]